

## 平成27年第9回教育委員会議事録

開会日時 平成27年9月24日（木） 午後3時00分

閉会日時 平成27年9月24日（木） 午後3時28分

場 所 岡崎市役所東庁舎2階大会議室

出席委員 小出 義信 福應 謙一 櫻井 敬子 土屋 武志 高橋 淳

説明のため出席した職員

横山教育部長 安藤教育監

鈴木教育部次長兼総務課長 鈴木教育部次長兼施設課長

加藤学校指導課長 小野社会教育課長 春日井給食管理室長

議事録指定職員

神尾総務課主幹

渋谷総務課主任主査

議案

- 1 平成27年度全国学力・学習状況調査の結果について
- 2 議会の議決を経るべき議案に関する意見について

（議題等及び議事の要旨）

小出委員長

議事に入る前に、日程第2、第15号議案「議会の議決を経るべき議案に関する意見について」は、教育委員会会議規則第8条第1項第4号の規定による、本市の内部における審議・検討又は協議に関する情報であって、公にすることにより率直な意見の交換若しくは意思決定の中立性が不当に損なわれる恐れがある案件に該当するものであり、秘密会として審議することを発議し賛成委員の挙手を求める。

挙手（全員）

小出委員長

秘密会として審議することを決定

■日程第1 その他

平成27年度全国学力・学習状況調査の結果について

学校指導課長

議案書等により説明

小出委員長

質疑を許可

（質疑なし）

土屋委員

教育委員会は、今回の結果を踏まえ、各学校にどのような支援をしていくのか。

学校指導課長

各学校において授業レベルでの改善が図られるように支援していく。各教科の「活用・知識」に関する問題において正答率の

低いものを抽出し、授業改善に活用するための指導事例を作成し、各学校へ配布する。

土屋委員

本市の結果は、評価できるものであり、引き続き教育委員会としても児童・生徒の学力の定着が図られるように取り組むことが適切と考える。

福應委員

今回の分析結果についても従来と同様に、小学校よりも中学校が伸びている。小学校の基礎的なものが中学校では、発展的なものになっていると考える。

小出委員長

分析結果にある「できている」等の区分は、全国で統一されている基準なのか。

学校指導課長

岡崎市が独自に設定した基準である。例年、分析結果は、平均正答率からこの基準を用いて作成している。

小出委員長

教育委員会の取り組みとして授業改善案等を各学校に伝え、必要に応じて指導主事が学校訪問等を行う場合の具体的な手順はどのようなものか。

学校指導課長

授業改善の取り組みについては、教育委員会、各学校がそれぞれ行っている。教育委員会は、市全体で平均正答率が低い問題を抽出し、その分析結果を踏まえた授業改善について、指導例も含め各学校に示している。各学校へは、平均正答率等から調査結果を分析し、改善を図るように依頼している。

小出委員長

全国学力・学習状況調査は、どのような考えに基づいて問題が作成されるのか。

学校指導課長

出題される問題については、国の研究機関において、全国的、世界的な視野に立って作成されている。現在、社会で求められる学力、世界で重視される学力に基づいた問題も作成され、従来と異なる視点で出題されることもある。新しい視点で出題されたものについては、今後、求められる学力と認識し、授業改善に取り入れている。

土屋委員

「かかわり合う学習」や「活動的な学習場面」を積極的に授業で取り入れている学校、学級は、調査結果がよいと聞いたことがある。平均正答率の低い問題をできるようにする授業改善ではなく、授業の進め方といった根本の部分が生活習慣と同様に調査結果に影響を与えるものとする。学校の授業を分析し改善を図ることも重要である。

学校指導課長

規則正しい生活を送ったり、自尊意識や規範意識が高い児童・生徒ほど高い正答率を得ていると受けとめている。今後も学校教育、授業の質を高めるための指導を行っていききたい。

櫻井委員

指導改善等の取り組みにおいて、指導主事がどのような場合に学校訪問を行うのか。

学校指導課長

分析結果に基づき、実際に授業レベルでの改善が必要な場合に指導主事が学校訪問を行う。

小出委員長 第15号議案を秘密会として審議することを宣言

■日程第2 第15号議案

議会の議決を経るべき議案に関する意見について

(秘密会)

小出委員長 秘密会の終了を宣言

(秘密会終了)

岡崎市教育委員会会議規則第14条第2項の規定により、ここに署名する。

平成27年9月30日

教育委員会委員長 小出 義信

教育委員会教育長 高橋 淳